
自省

tenko

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

自省

【Nコード】

N1119Z

【作者名】

tenko

【あらすじ】

私の今までの人生の反省。

今の私にしか書けない自省録。

私は元来、自信というものがおおいに欠けている人物なのであった。

それは恐らく、生まれたときからの病弱さに起因していた。

幼いころからある程度他人と自分の差異に、しかも自分が劣っているという点での自覚があったことは、私の中にある種の人生についてのあきらめを早期に生み出させた。

私の父母は勝気な性格であった。

私と妹は幼少時から一番に意味があると教えられてきた。

妹は素直に育ったが、私はさきほどのあきらめの為、そうはいかなかった。

どうせ勝てないのだから、という幼少期にはいささか大人びた考えをいつも胸に抱いていたのである。

しかしもちろん私は幼少期特有の展望も捨ててはいなかった。

現実を見てもなお夢にすがっていたのである。

だからこそ、この時期に私はAに恋をしたのであり、このAへの恋は愛など微塵もなく、自分の為だけの恋であったと断言できる。

しかし、確実にこの恋は恋であり、かつ私の初恋であった。

そしてその恋はなんにせよ永遠だと思っていた。

その意味でも私は夢にすがっていたのである。

しかしその恋は終わったのである。

名目的にはAに恋人が出来たからであり、

本質的には私がAのことを必要としなくなった為である。

これは決して未練がましい私の後付けなどではない。
私は気づかぬうちに、今までの自分ではなくなっていた。

それに気がついたのが半年前、高校2年の夏であり、
Aとの恋が終わったことにより、初めて自覚できたのである。
よって、私は今現在の視点で今までの人生を反省してみる次第である。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1119z/>

自省

2011年12月4日02時48分発行